

資料タイトル：設立申請時の自由学園文学科・家庭科の時数及び1921年度の文学科・家庭科の指導者一覧

作成者：村上民

作成年代：2021年11月

資料内容：自由学園文学科・家庭科（高等女学校卒業生対象の高等科にあたる）の設立申請段階（1921年3月頃）における時数

及び1921年度の文学科・家庭科の指導者を当時の資料をもとにまとめた。一部には1回生中嶋静江の回想による情報を含む。

設立申請書類上の学科目と実際の時間割での科目名は必ずしも対応しないが、設立申請時点での科目名をもとにした。

1回生の回想によれば、「1年経って、文学科と家庭科の区分はやめました。みんないっしょに勉強することになりました。

はじめの1年間にいっしょになるのは、羽仁もと子先生の授業だけでした。それがこんどはみんな込みあわせの授業になりました」とある。

典拠資料：「自由学園の文学科及び家庭科」（『婦人之友』1921年4月号）、「自由学園規則書 1921」、[1921年1学期、2学期家庭科・文学科1年時間割資料]より再構成。

山崎怜「村山壽子の評伝の試みをめぐって 聞き書きのこと（続）」（『香川大学生涯学習教育研究センター研究報告』（19）2014-3）所収の

中嶋静江インタビュー記録に1回生からの聞き取り調査結果が記述されており、補足的に用いた。

『自由学園一〇〇年史』該当章：第Ⅱ部女子部第一章第二節 高等科のカリキュラムとその特徴（255頁）

二次利用に際して：作成以降、調査内容が追加・修正されている場合があるため、本資料の二次利用については事前許可制とする。

「資料利用許可申請書」を記入の上、archives@jiyu.ac.jpへ提出のこと（詳細は「自由学園100年+」トップページ>資料の公開方針と利用方法 を確認）。

文学科 文化科長 バチェラー、オブ、アーツ 川戸環子					
学科目	時数	第一学年	指導者	時数	第二学年
実践倫理（修養会）	1 (2)	学生ノ思想及ビ実生活ノ指導	羽仁もと子	1	同
英語・英文学	12	読方、訳解、会話、作文、文法	川戸環子、ミリケン、メリー・マクドナルド、カロリン・マクドナルド、熊本謙二郎、木岡利子、間野、マンダー、ケンダル	12	同
文学（漢文、国文）	2	名著講解、文芸批判	羽仁、別所梅之助、齋藤勇	2	同
美術・哲学	1	美術史	山本鼎	1	哲学史
政治経済及社会問題	1	新聞研究	羽仁吉一	1	同
市民学(Civics)	1	講義・研究・見学	カロリン・マクドナルド	1	同
音楽	1	音楽	マクドナルド	1	音楽
体操舞踏	1		ウイドボーン	1	
計	20			20	

科外：文章会（毎月2回）、文化講座（毎週4時間）

家庭科 家庭科長 松岡久子					
学科目	時数	第一学年	指導者	時数	第二学年
実践倫理	1	学生ノ思想及ビ実生活ノ指導		1	同
英語	4	会話、訳読	メリー・マクドナルド、松岡久子、齋藤その子、木岡利子、ギブス、熊本謙二郎、ベーカー、安部京子、マンダー、川戸環、間野、	4	同
家庭科学	2	自然科学入門	和田八重造	2	日常生活ニ於ケル科学
文学	2	名著講解、文芸批判	齋藤勇	2	同
政治経済及社会問題	1	新聞研究	羽仁吉一	1	同
裁縫・手芸・料理（実際科、食	5	講義・実習	田中よね子、青芳とみ子、河野富子、西島芳太郎、ミュラー、マクダフ	1	同
音楽	1	音楽	鈴木信子、マクドナルド	1	音楽
体操舞踏	1		ウイドボーン、ハイヤドル	1	
計	17			17	

科外：家庭及社会見学（毎月1回）、文化講座（毎週4時間）

※文化講座は一般の聴講を許スコト 聴講者定員五十名、聴講料一期毎金十円

※このほか、上記1回生回想によれば、岡田哲蔵（英語）、野村（法律）、岩田（松平）里子（音楽）、ハイヤドル（体操）、山縣五十雄（文学）、榊原(体操)の氏名あり。ただし、高等科の指導かどうかは確実ではない。